

インターネット辞書・事典検索サイト ジャパンナレッジ Personal
JapanKnowledge Personal

<https://japanknowledge.com/personal/>

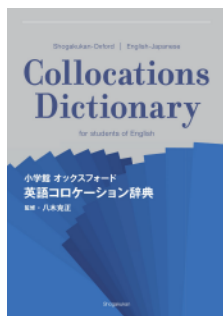
更新ニュース 2023

2023 年 4 月公開

小学館オックスフォード 英語コロケーション辞典

【小学館】 

『Oxford Collocations Dictionary for students of English』の日本語版。日本の学習者にとって使用頻度の高いコロケーションを厳選し、見出し約 2500 項目、コロケーション約 14 万 5000 語を収録しました。すぐ役に立つ、読解と発信の両方の役割を兼ねた「読むための辞書」になっています。ジャパンナレッジ版では、複数語義のある項目の本文先頭に「語義一覧」を設け、読みたい語義にすぐにジャンプできます。



2023 年 6 月公開予定

日経キーワード

【日経 HR】

時事・経済ニュースを読みこなすための重要語、新語を集めたキーワード集です。11 の分野から厳選した 500 以上のキーワードについて、定義や論点を踏まえてコンパクトに解説します。特集の「ウクライナ情勢」「2022年の重要キーワード」および巻末資料「基礎用語ミニ辞典」「日経 MJ ヒット商品番付」も搭載。

【分野】

日本経済 / 国際経済 / 国内政治
国際社会 / 業界・企業 / 労働・雇用
テクノロジー / 国土・環境 / 医療・福祉
社会・生活 / 教育・文化・スポーツ



2023 年夏公開予定

東洋文庫 (86 冊追加)

【平凡社】

日本、中国、インド、イスラム圏に及ぶアジアの文化や古典を理解しやすい現代語訳で楽しめる『東洋文庫』は、現在、ジャパンナレッジで 772 冊を公開しています。今回、2010 年 6 月以降に刊行されたタイトルを中心に、作品番号 700 ～ 910 の中から 86 冊を追加公開いたします。



【主な公開タイトル】
共同研究 転向
新訳 ラーマヤナ
完訳 日本奥地紀行
(イサベラ・バード)
論語集注
メッカ巡礼記

2023 年秋公開予定

明治文学全集 (全 99 巻)

【筑摩書房】

近代日本を築いた明治年間の文学遺産を多方面に網羅する、歴史的な大全集。未発表資料・稀覯本・入手困難な著作を可能な限り収め、埋もれた作品を発掘・収録しました。小説偏重を脱し、広義の文学の視野に立って歴史的・体系的に編集。さらに、代表的研究・作家論・作品論を各巻に収め、詳細な解題・年譜・参考文献も併録しました。



※『情報・知識 imidas』の公開は 2023 年 5 月末で終了となります。

 つきのコンテンツは「JK パーソナル+R」コースでのみ使用可能です。

お問い合わせ **NetAdvance**

株式会社ネットアドバンス (小学館グループ)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30 昭和ビル 3F

●E-mail: support@japanknowledge.com

プロに聞きました——ジャパンナレッジ活用術

「お江戸^{えど}ル」としてテレビや講演等で幅広く活躍する、「ほーりー」こと堀口茉純さん。その「くわしすぎる歴史の知識」は、辞書・事典に裏打ちされたものでした。ジャパンナレッジのヘビーユーザーでもある堀口さんに、その活用術を伺いました。

◆ロケ先で『国史大辞典』を検索

「お江戸ル」としての私の活動に、ジャパンナレッジの『国史大辞典』は欠かせません。日本最大の歴史百科全 15 巻を自宅に揃えるのも大変ですし、もちろん持ち運びもできません。でも、ジャパンナレッジならば、スマホからでも簡単にアクセスできます。

例えば、お仕事で歴史関係のロケに行くことがあります。レギュラー番組のスタッフは江戸文化を調べ込んでつくってくださいますが、単発で出演する番組の担当者が皆、歴史に精通しているわけではありません。インターネットで検索した情報をもとに、番組を構成していることもあります。現場で、「○○ということについてコメントしてほしい」と言われた時に、その「○○」が不確かなのがあるのです。インターネットでは、歴史上のことであっても、史実と伝説と噂が混在しているので、見分けるのが難しい。そんな時はスマホを取り出し、ジャパンナレッジでさっと検索。『国史大辞典』に「○○」という事実が載っているか確認します。載っていないければ、番組ではそのことに触れないようにします。

もちろん、「史実」にも新発見があります。新たな資料が見つかったり、通説が覆ったりすることもあります。「歴史」も、日々更新されています。しかし大事なのは、何をベースにして情報を取り出すかということです。いちばん確かな『国史大辞典』に載っている、ということが、信頼性を担保します。

◆好きなことを調べてみる

いろんな時代のなかでも、私は「江戸」が好きです。10歳のころ、父の本棚にあった司馬遼太郎の『燃えよ剣』を手に取り、新撰組の沖田総司を知りました。はい、これが私の初恋です。今でいう「推しメン」ですね。

好きな人のことを知りたくなるのは人の常。私も沖田総司のことを調べ始めました。当然、幕末のことに詳しくなりますし、江戸という時代そのものにも興味が湧いてきました。江戸の人は何を食べていたのか、どんな服を着ていたのか、などなど。あとは一直線です。

「歴史好きになるにはどうしたらいいですか？」と訊かれたら、私は迷わずこう答えます。

「好きだから調べる。好きなことを調べる」

歴史にかぎらず、気になったモノ・コトを検索すると、きっと新たな世界が広がります。

◆平和を希求する家康をリスペクト

初恋相手は沖田総司ですが、今、最もリスペクトしている歴史上の人物は、徳川家康です。有名な武将なので、いまさらあらためて推すなんて「にわか歴史ファンじゃないか」と勘ぐられることもあります。調べれば調べるほど、家康の偉大さが見えてきます。こんなエピソードがあります。

《桶狭間の戦いのとき、大樹寺に難を逃れた徳川家康を、大樹寺 13 世の登誉天室が戒めて自害をとどませ、怪力祖洞和尚が寺域をとり囲んだ織田の軍勢を貫木を振りまわして退却せしめた。家康の自害を救った〈厭離穢土・欣求浄土〉の 8 文字は、家康の座右の銘となり、戦陣の旗印ともなった。》(ジャパンナレッジ『世界大百科事典』「大樹寺」)

貫木のくだりは伝説の域を出ませんが、早くから「厭離穢土 欣求浄土」を旗印にしていたのは事実のようです。つまり家康は、自身の天下を望んでいたのではなく、平和な世(=浄土)を築くことを目的にしていた。これって、すごいことだと思いませんか？

ジャパンナレッジには最近、『新釈漢文大系』が加わりました。家康は唐代の政治言行録『貞観政要』を愛読したと伝わっていますが、これがなんと『新釈漢文大系』に入っているんです！ しばらく、ジャパンナレッジを「読む」日々が続きそうです。

ほりぐち ますみ

堀口 茉純 (タレント、歴史作家、江戸風俗研究家)

1983 年、東京都生まれ。明治大学文学部卒。国際浮世絵学会会員。2007 年俳優デビュー。2008 年、25 歳で江戸文化歴史検定一級に合格(当時最年少)。以降、「江戸に詳しくすぎるタレント=お江戸ル“ほーりー”」として人気となる。レギュラー番組に『DJ 日本史』(NHK ラジオ第 1)、『ぐるり東京江戸散歩』(TOKYO MX)。著書に『江戸はスゴイ』(PHP 文庫)、『徳川家・松平家の 51 人』(PHP 新書)など多数。

■YouTube「ほーりーとお江戸、いいね!」

<https://www.youtube.com/user/ilikeedo>



(取材・文/角山祥道 写真/畑山・マガニヤ 綾)